

FM/AM コンパクトディスク プレーヤー

取り付けと接続

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

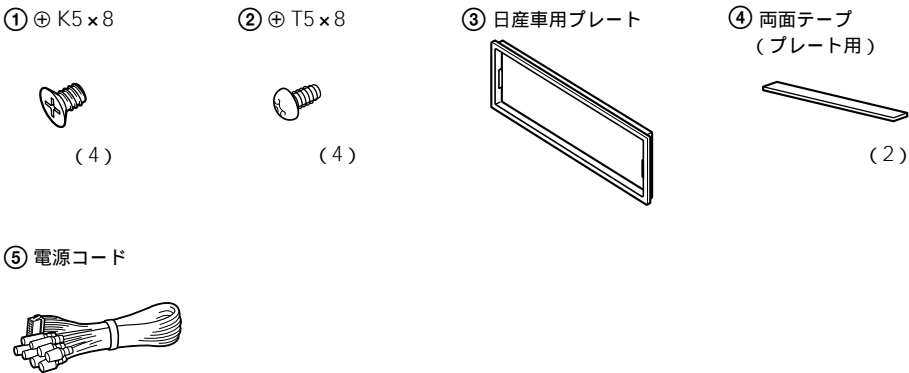
この「取り付けと接続」および別冊の取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この「取り付けと接続」とおよび別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取り付けはお買い上げ店に依頼する
本機の実取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この「取り付けと接続」に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

CDX-C3400X

Sony Corporation © 2000 Printed in Korea

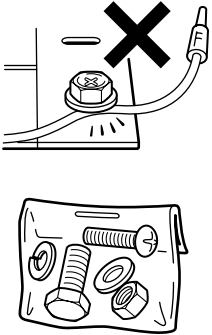
取り付け部品の確認（付属品）



この「取り付けと接続」に記載されている取り付け、接続先の機器は全て別売品です。ただし、付属品は除きます。

ビス・ナット類

- 必ず付属のビス類をお使いください。
- ビスやナットを締めるとき、他の配線を噛みこまないようにご注意ください。
- 車体のボルトやナットを使って共締めやアースをするとき、ハンドルやブレーキ系統のものは絶対に使わないでください。
- 外したビス類は、小箱や袋に入れて紛失しないようにしてください。
- 外すビスの種類が多いときは、混同しないようにしてください。



ソニー株式会社
〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35
お問い合わせはお客様相談センターへ
● ナビダイヤル……………0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでの利用は…03-5448-3311
● Fax……………0466-31-2595
受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00

Sony online <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。



警告

安全のために

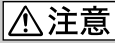
警告表示の意味

「取り付けと接続」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



警告



火災



感電

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。



禁止



助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付ける

動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に働かず、けがの原因となります。



禁止



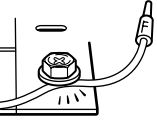
運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付ける

運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をする、事故や感電、火災の原因となります。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



禁止



取り付け、接続作業をするときには、必ずイグニッションキーをOFFにするか、キーを抜いておく

イグニッションキーをONにしたまま作業をすると、バッテリーあがりや、ショートによりヒューズ飛びや発煙などの危険があります。



注意

下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

付属の部品で正しく取り付ける

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

安定した場所に取り付ける

振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



禁止



本機の通風口や放熱板をふさがない

通風口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁止



アンテナは車体からはみ出さないよう取り付ける

歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。



禁止



1 接続 必ず接続先の機器に付属の説明書もあわせてご覧ください。

別売り品の仕様についてはカタログをご覧になるか、お買い上げ店にご相談ください。

ショート事故を防ぐために

本機の電源コードの接続は、必ずイグニッションキーをOFFにして、すべての配線をすませてから行ってください。先に電源コードを接続すると、ショートにより感電や製品の破損の原因になります。

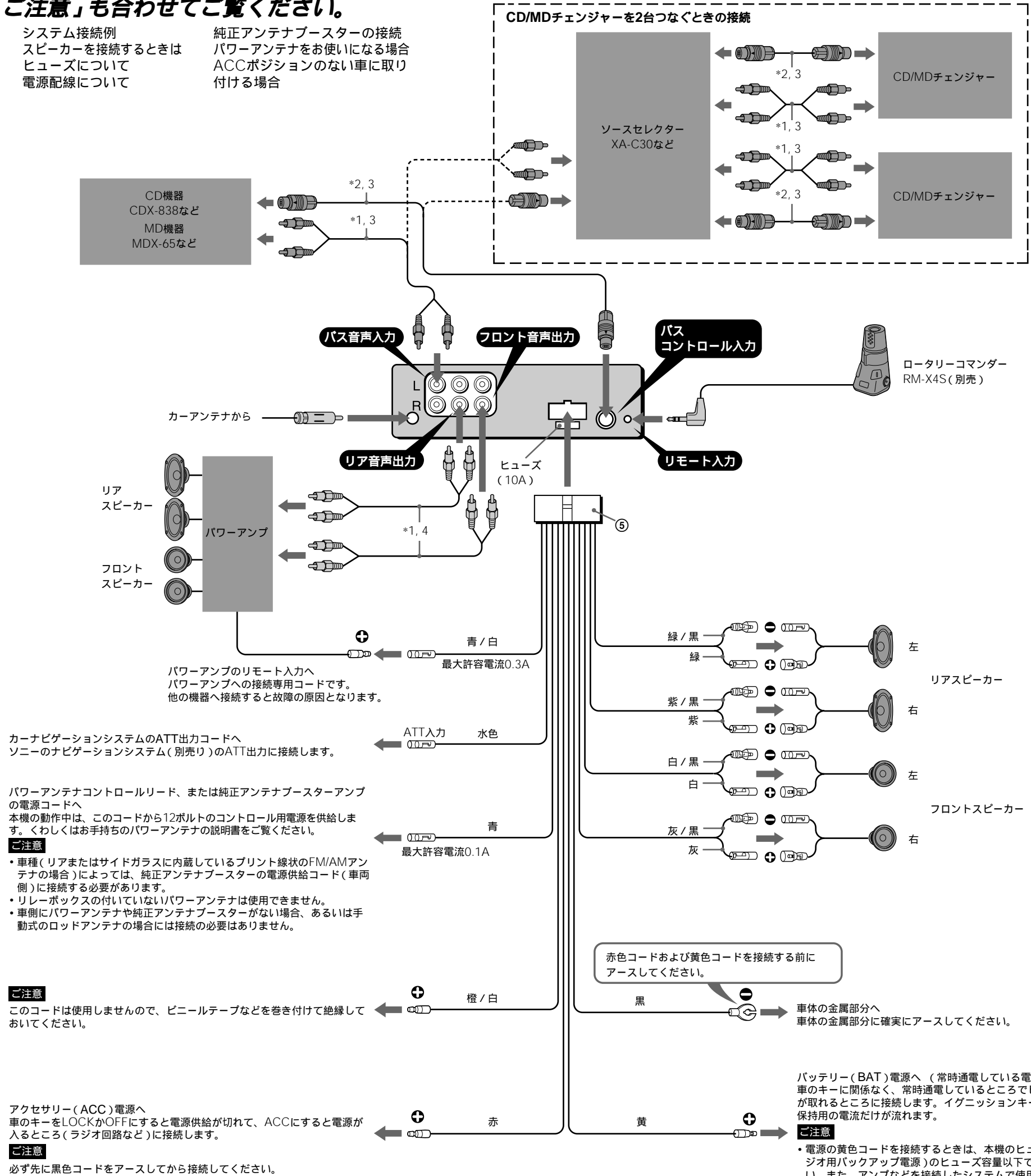
裏面の「システム接続例」、「接続関係の ご注意」も合わせてご覧ください。

システム接続例
スピーカーを接続するときは
ヒューズについて
電源配線について

純正アンテナブースターの接続
パワーアンテナをお使いになる場合
ACCポジションのない車に取り
付ける場合

- *1 RCAピンコード
- *2 バスケーブル
- *3 CD/MDチェンジャーまたはソースセクターに付属のRCAピンコード/バスケーブル、または別売りのRC-61(1m)、RC-62(2m)などをご使用ください。

- *4 別売りのRC-63(1m)、RC-64(2m)、RC-65(5m)などをご使用ください。



カーナビゲーションシステムのATT出力コードへ
ソニーのナビゲーションシステム(別売り)のATT出力に接続します。

パワーアンテナコントロールリード、または純正アンテナブースターアンプ
の電源コードへ
本機の動作中は、このコードから12ボルトのコントロール用電源を供給しま
す。くわしくはお手持ちのパワーアンテナの説明書をご覧ください。

- ご注意**
- 車種(リアまたはサイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合)によっては、純正アンテナブースターの電源供給コード(車両側)に接続する必要があります。
 - リレーボックスの付いていないパワーアンテナは使用できません。
 - 車側にパワーアンテナや純正アンテナブースターがない場合、あるいは手動式のロッドアンテナの場合には接続の必要はありません。

ご注意
このコードは使用しませんので、ビニールテープなどを巻き付けて絶縁しておいてください。

アクセサリ(ACC)電源へ
車のキーをLOCKかOFFにすると電源供給が切れて、ACCにすると電源が入るところ(ラジオ回路など)に接続します。

ご注意
必ず先に黒色コードをアースしてから接続してください。

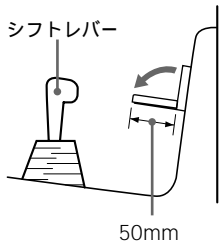
バッテリー(BAT)電源へ(常時通電している電源へ)
車のキーに関係なく、常時通電しているところでヒューズの容量値以上の電源が取れるところに接続します。イグニッションキーをOFFにすると、メモリー保持用の電流だけが流れます。

- ご注意**
- 電源の黄色コードを接続するときは、本機のヒューズ容量が車両側(純正ラジオ用バックアップ電源)のヒューズ容量以下であることを確認してください。また、アンプなどを接続したシステムで使用する場合は、総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし車両側の容量が小さい場合はバッテリーから直接電源を引いてください。このことを確認しないと異常が生じた時、車両のヒューズが先に切れ、他の機器が機能しなくなります。
 - 必ず先に黒色コードをアースしてから接続してください。

2 本体を取り付ける

取り付ける前に

フロントパネルの開閉のためには、シフトレバーからフロントパネル部まで図の間隔が必要です。シフトレバーの位置によっては、ディスクの出し入れがしにくい場合やフロントパネル部が当たる場合があります。車のシフト操作の妨げにならないことを確認してください。



取り付け場所

こんな取り付け場所はお避けください。

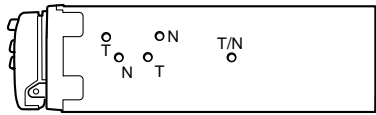
- 運転の妨げになる所
- 同乗者の安全を損なう所
- グローブボックスのふたの開閉や、灰皿の出し入れの妨げになる所
- ほこりの多い所
- 磁気を帯びた所
- 直射日光やヒーターの熱風などが当たる所
- 雨が吹き込んだり、水がかかる所、湿気の多い所

センターコンソールやインダッシュに取り付ける

トヨタ車、日産車、三菱車のほとんどは純正カーオーディオを外して、そのあとに本機を取り付けられます。取り付け可能車はお買い上げ店にお問い合わせください。お車上記以外のときは、別売りの取り付けキットが必要です。お買い上げ店にご相談ください。

ご注意

- 水平から+60度以内で取り付けてください。60度以上傾けて取り付けると、CDの音飛びなどの原因となります。
- 純正ブラケットを本機に取り付けるとき、本機側面に刻印されているT(トヨタ車用)、M(三菱車用)、N(日産車用)マークにブラケットの取り付けネジ穴を合わせて、付属のネジ①または②で取り付けてください。



1

純正カーオーディオを取り外す。

ちょっと一言

純正カーオーディオの取り外し方がわからない場合は「ソニーFAXインフォメーションサービス」にお問い合わせいただくか、お買い上げ店にご相談ください。

2

本機を取り付ける。

カーオーディオを取り付けていた純正ブラケットを利用して、本機を取り付けます。

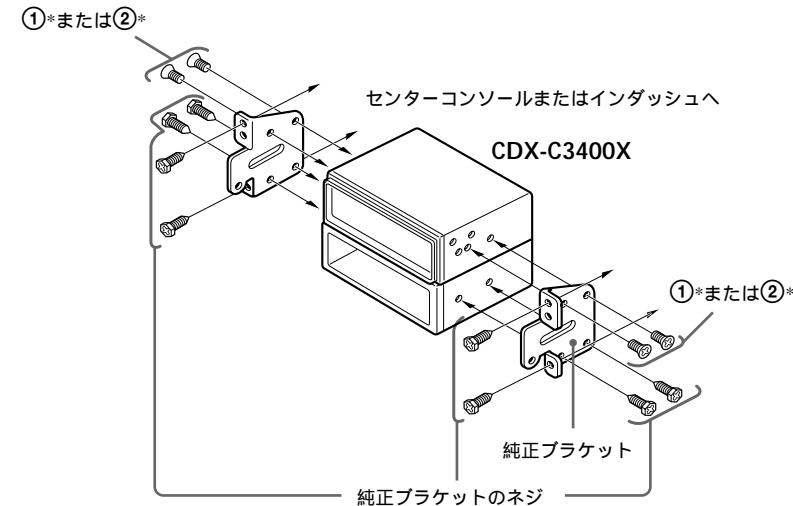
ご注意

- 本機の実装の際は必ず付属のネジ①または②をお使いください。また、必ず車両側の純正ブラケットをはさんでネジ止めしてください。本体に直接ネジを締め付けると、故障の原因になります。
- 本機のフロントパネル部の表示窓を押したり、ボタンに強い力を加えたりしないでください。
- 本機の上部に物をはさみ込まないでください。

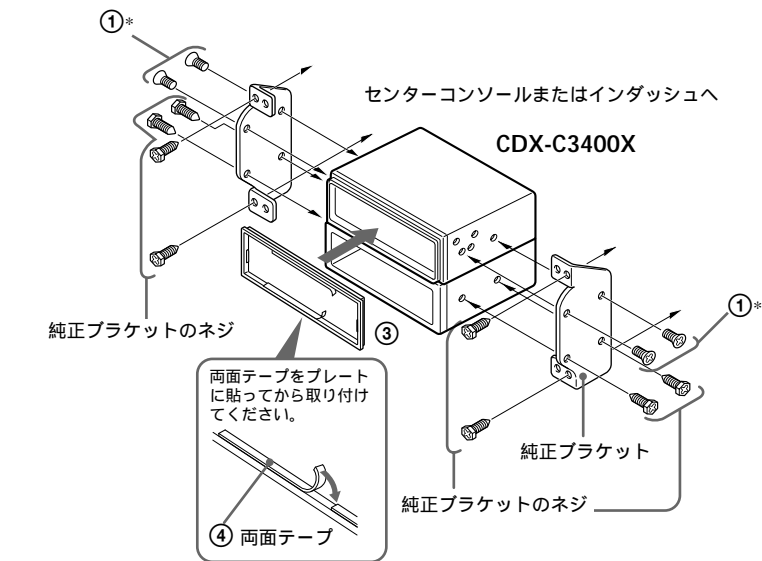
トヨタ車/三菱車の場合(イラストはトヨタ車の場合)

①と②のネジは取り付け車両により使い分けてください。

三菱車に本機を取り付ける場合は、②のネジをご使用ください。



日産車の場合



* 付属の皿ネジ①またはトラスネジ②で取り付けてください。他のネジを使用すると故障の原因となります。

3 取り付けと接続が終わったら

1

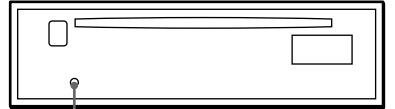
ブレーキランプやライト、ホーン、ウィンカー、ワイパーなど、すべての電装品が正しく動くことを確認する。

2

リセットボタンをつまようじの先などで押す。

ご注意

- リセット後は、必ずOPEN/CLOSEボタンを押していったんフロントパネルを開閉してから、他の操作をしてください。また、すでにMDが入っている場合は、挿入し直してから操作してください。リセット後そのまま操作すると、「NO DISC」などのエラー表示が出て正しく動作しないことがあります。
- 針のようなもので強く押すと故障の原因となります。



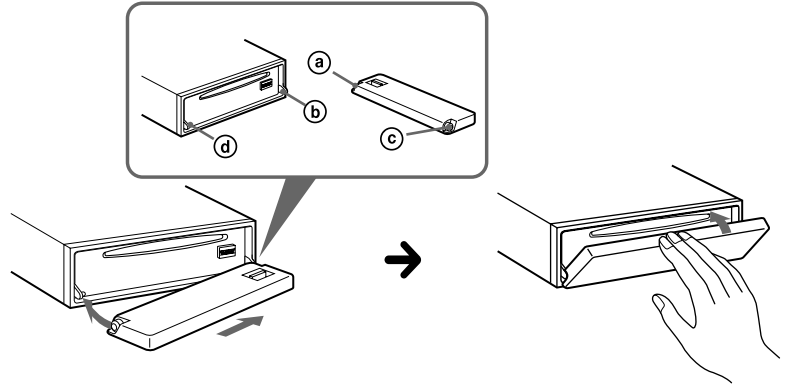
リセットボタン

4 フロントパネルについて

本機のフロントパネルは取り外すことができます。本機を取り付ける際は必ずフロントパネルを取り外してから作業をしてください。

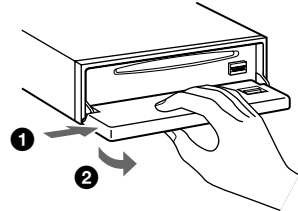
取り付け

フロントパネルの③部分と本体の④部分を合わせて、フロントパネルを押し込み、フロントパネルの③部分と本体の④部分を合わせて取り付けます。



取り外し

必ず、OFFボタンを押して本機の電源を切ってから、OPENボタンを押してフロントパネルを開けます。図のようにフロントパネルを右に押しながら左側を手前に引いて取り外してください。

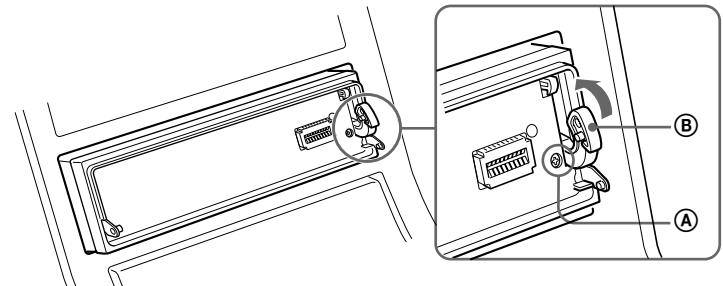


フロントパネルが開けにくいときは

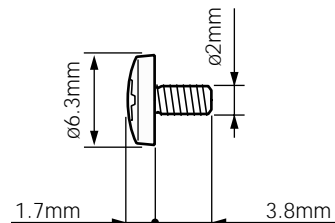
車種によっては取り付け角度により、フロントパネルが開けにくくなる場合があります。このようなときは、図のレバー⑥を矢印の方向にロックしてから銀色のネジ⑤を外してください。

ご注意

取り外したネジ⑤は大切に保管してください。

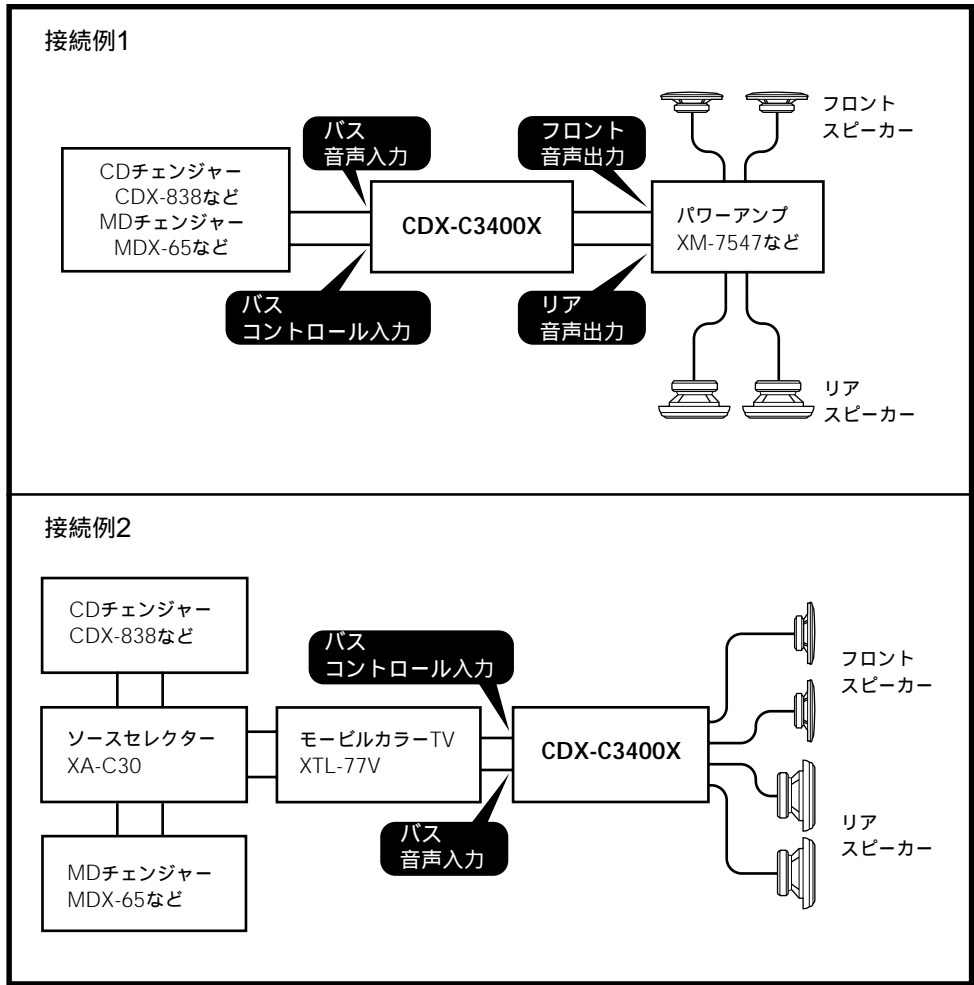


取り外したネジを取り付ける場合は、先にレバー⑥を矢印の方向にロックしてから行ってください。レバー⑥が出たままでネジ⑤を取り付けると故障する場合があります。他のネジで取り付ける場合は、下記のサイズのネジをお使いください。これ以外のサイズのネジを使うと故障の原因となります。



システム接続例

2台以上のチェンジャーを接続する場合、別売りのソースセクターXA-C30が必要です。



接続関係のご注意

スピーカーを接続するときは

次のことをお守りください。スピーカーの故障や破損の原因になります。

- スピーカーを接続する前に、必ず本機の電源をOFFにする。
- インピーダンス4～8Ωのスピーカーを使う。
- 十分な許容入力を持つスピーカーを使う。
- スピーカーの⓪、Ⓢ端子を車のシャーシなどに接続しない。
- 本機のスピーカーコードどうし(特に⓪端子どうし、Ⓢ端子どうし)を接続しない。
- 既設の純正スピーカーコードを使う場合、左右のスピーカーコードのⓈ側が共通になっているものは使わない。
- 本機のスピーカーコードにスピーカーを接続しない場合は、コードには何も接続しない。
- 本機のスピーカーコードにアクティブスピーカー(アンプ内蔵スピーカー)を接続すると、本機を破損するおそれがあります。アクティブスピーカーの使用を避け、通常のスピーカーをお使いください。
- トヨタ車や三菱車、日産車にはトレードインスピーカーがあります。くわしくはお買い上げ店にご相談ください。

ヒューズについて

- 本体の後面にあるヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、ヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズと交換してください。規定容量以上のヒューズや針金で代用することは大変危険です。
- 本機の黄色コード(バッテリー電源入力コード)を接続する前に、本機のヒューズ容量が車両側のヒューズ容量(ラジオまたはオーディオ電源)以下であることを確認してください。判断が難しい場合は、お買い上げ店にご相談ください。

電源配線について

車種によっては、車両側の配線が細い(電流容量不足)ため、エンジンアイドリング時にライトやエアコンを動作させると、正常に動作しないことがあります。この場合は、別売りの電源コードRC-39を使って電源配線することをおすすめします。

純正アンテナブースターの接続

車種(リアまたはサイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合)によっては、純正アンテナブースターに電源供給コード(車両側)に接続する必要があります。この場合はパワーアンテナコントロールコード(青色)または、アクセサリ電源(赤色)を接続してください。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。

パワーアンテナをお使いになる場合

本機裏面から出ている青色コードをパワーアンテナ(リレーボックス付き)に接続してお使いになると、ラジオの電源を入れた時にパワーアンテナが自動的に出ます。

ACC(アクセサリ)ポジションのない車に本機を取り付けた場合の操作上の警告

お車を離れる際は、必ず本機のOFFボタンを2秒以上押して時計表示が消えたことを確認してください。
OFFボタンを短く押しても、時計表示が消えずにバッテリー上がりの原因となります。